
保育ビジネスの展望

～待機児童をキーワードに～

2013年6月14日

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部
経営コンサルティング部
主任コンサルタント
栗原 一馬

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル

1. イントロダクション

2. 待機児童問題とは？

3. なぜ株式会社の参入が進まないのか？

4. まとめ～保育ビジネスの展望～

1. イントロダクション

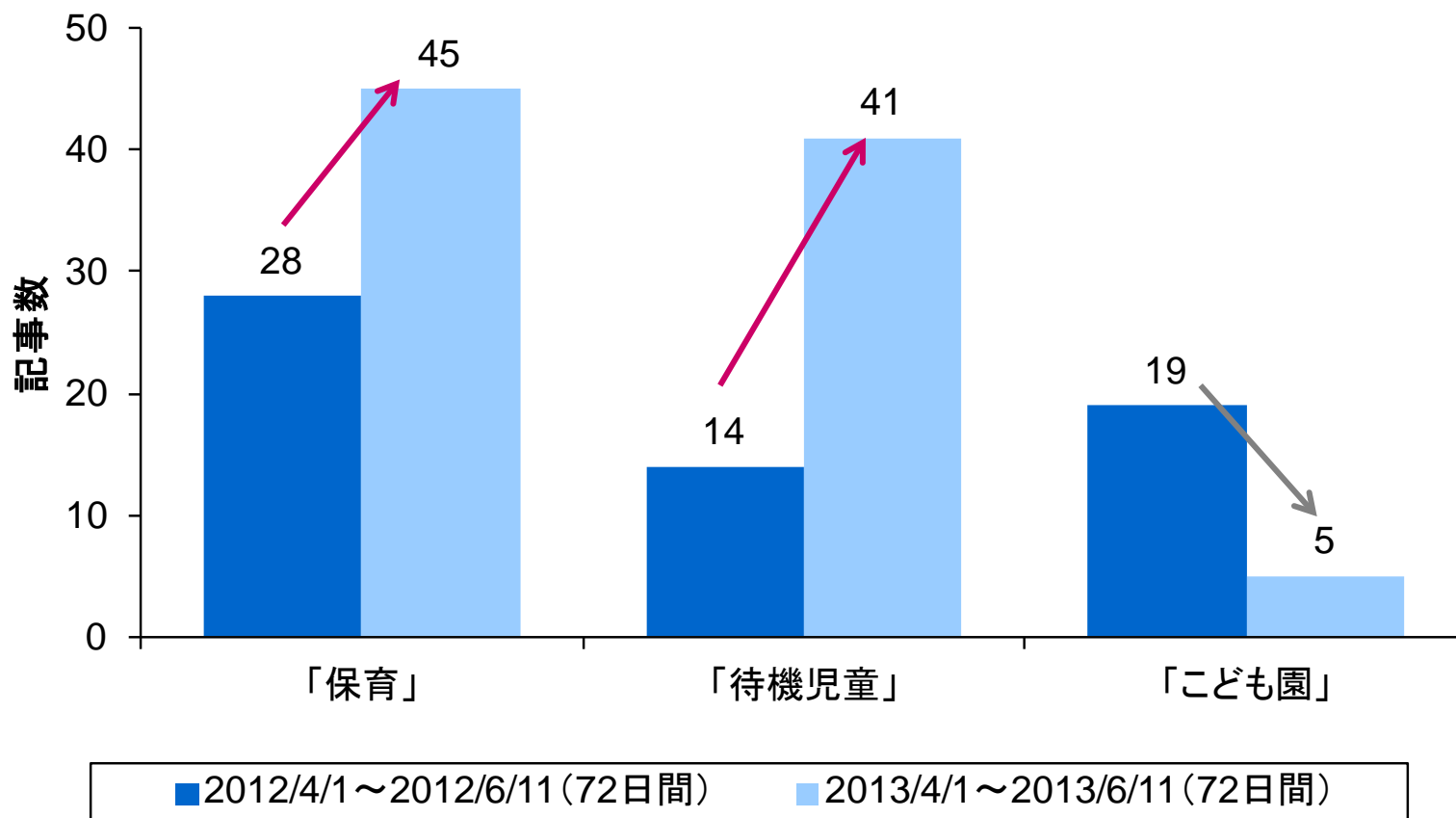
2. 待機児童問題とは？

3. なぜ株式会社の参入が進まないのか？

4. まとめ～保育ビジネスの展望～

今年度は、2日に1回以上のペースで日本経済新聞に取り上げられているホットピック

2012年・2013年の同期間において日本経済新聞朝刊に取り上げられた記事数(キーワード別)



時々刻々と新たな動きが生じている

保育に関する直近の動向

年月	タイトル	詳細・備考
13年3月	待機児童微減	<ul style="list-style-type: none"> 2012年10月時点での待機児童が46,127人で、前年比493人減少
	孫への教育資金贈与非課税に	<ul style="list-style-type: none"> 教育資金を孫に一括贈与する場合、孫1人につき1,500万円まで贈与税を非課税に
13年4月	育休3年まで延長検討	<ul style="list-style-type: none"> 首相が、現在最長1年半の育児休業を3年まで取れるよう、民間に努力を要求
	待機児童解消加速化プラン	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省が「待機児童解消加速化プラン」を発表。2013年度・14年度を緊急集中取組期間に設定。約20万人分の保育の整備を国が支援
13年5月	杉並区が待機児童の実態を発表	<ul style="list-style-type: none"> 通常の定義では94人だが、子どもを預けられないために仕事を辞めたり、育休延長をした世帯の児童を含めると、待機児童は3倍以上の285人存在することが判明
	横浜市待機児童ゼロ達成	<ul style="list-style-type: none"> 「2010年から3年間でゼロ」の目標を達成。各マスコミでも大きく取り上げられた
	世田谷区が民間容認を検討	<ul style="list-style-type: none"> これまで株式会社の参入を認めていなかった世田谷区が、待機児童解消に向けて民間企業の容認の検討を表明
13年6月	規制改革会議の答申	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社及びNPOの参入拡大を促す提言を実施(経営形態にかかわらず公平公正な認可制度の運用がなされるよう、厚生労働省は都道府県に通知。通知の趣旨が市区町村に周知徹底されるよう都道府県に通知)
	出生率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 昨年の合計特殊出生率が16年ぶりに1.4を超え1.41に(一昨年は1.39)

本日の講演の主旨

**社会問題の1つとなっている「待機児童」をキーワードに、
中長期的な視点で保育ビジネスを考える**

中長期視点で考える

**待機児童問題から
全体像を理解する**

**有力な解決策の1つである
「民間活用」の課題を整理する**

1. イントロダクション

2. 待機児童問題とは？

3. なぜ株式会社の参入が進まないのか？

4. まとめ～保育ビジネスの展望～

待機児童問題に関わる4つの『ホント！？』

①実は、待機児童は増えていない？

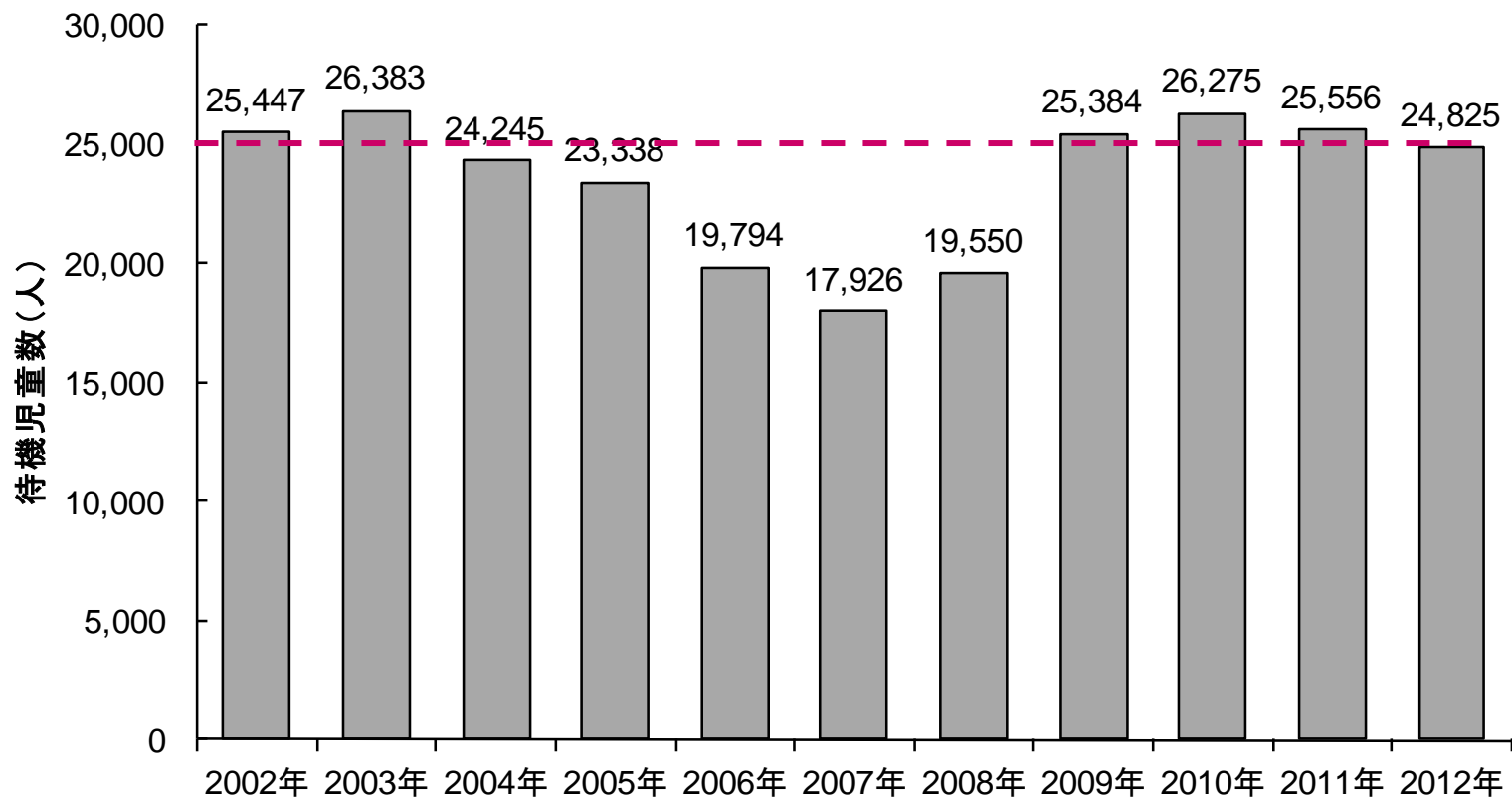
②実は、保育所の定員は余っている？

③待機児童は、減らせば減らすほど増える？

④少子化が続いても、保育所の需要は増える？

直近2年間は減少傾向にあるが、実は10年前とほぼ同水準で変わっていない

保育所入所待機児童数の推移(各年4月1日時点)



「待機児童」は意外と狭義(自治体によって異なる場合も?)

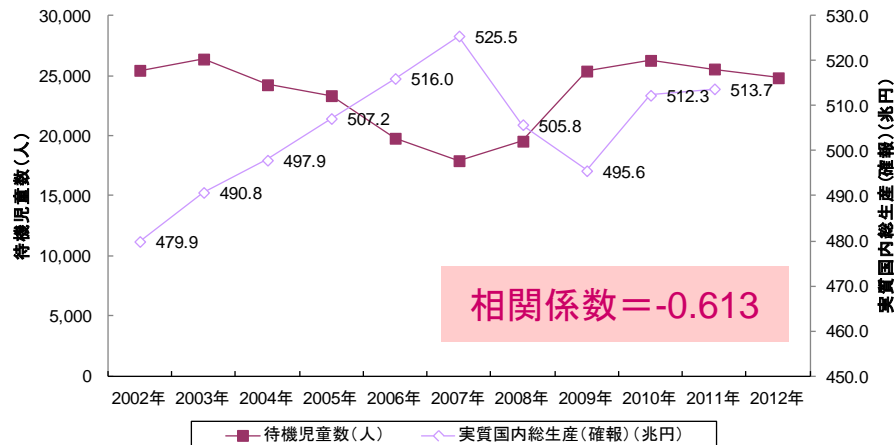
**保育所への入所申込が提出されており、
入所要件に該当しているが、入所していない児童**

例外

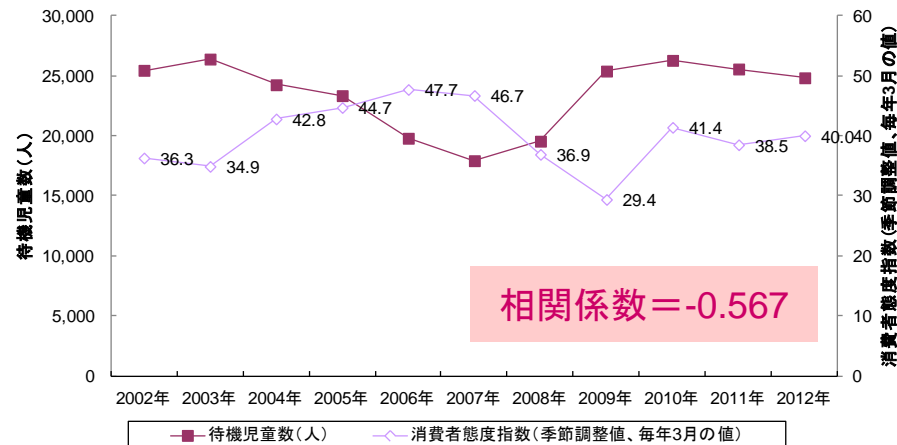
- (近い将来入所の意思はあるが)そもそも保育所への入所申込を提出していない児童
- 育休明けに入所希望だが、事前に入所申込をしており、入所していない児童
- 第一希望以外の保育所に入所できるにも関わらず、入所していない児童
- 認証保育所や保育ママなどの他の保育サービスを受けている児童

過去10年間に於いて、待機児童数は景気と逆相関の関係にあった

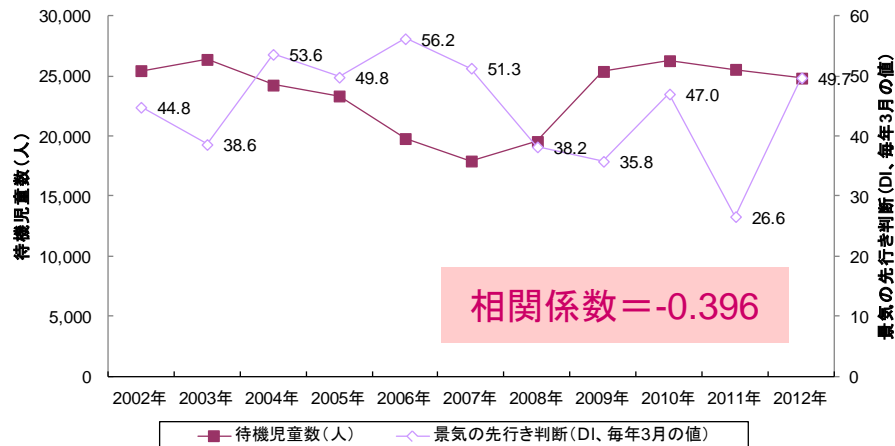
待機児童数と実質国内総生産(確報)の推移



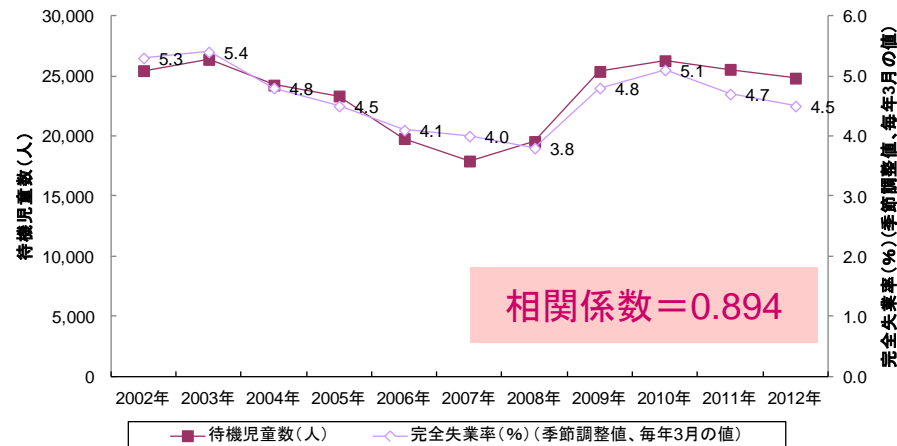
待機児童数と消費者態度指数(季節調整値)の推移



待機児童数と景気の先行き判断(DI)の推移



待機児童数と完全失業率(季節調整値)の推移



待機児童問題に関わる4つの『ホント！？』

①実は、待機児童は増えていない？

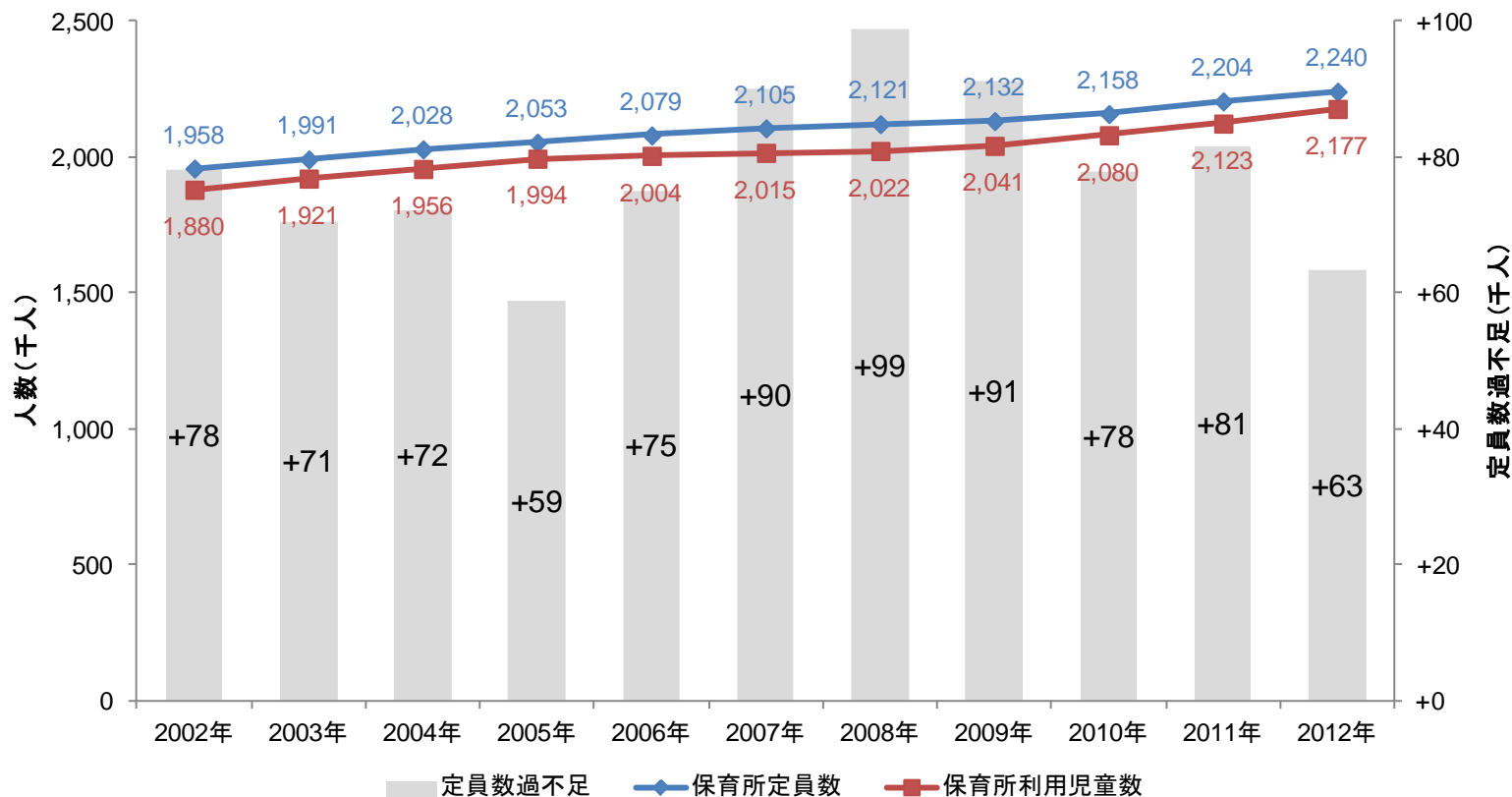
②実は、保育所の定員は余っている？

③待機児童は、減らせば減らすほど増える？

④少子化が続いても、保育所の需要は増える？

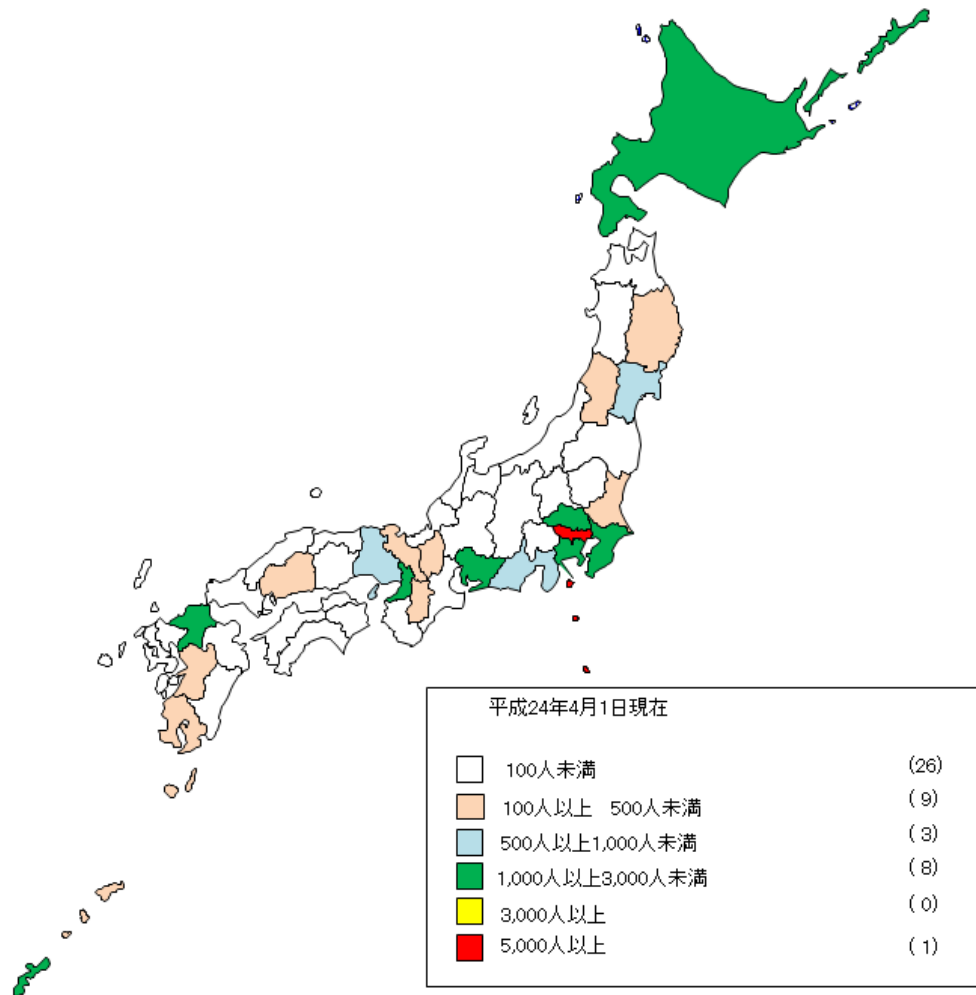
全国レベルで見ると、保育所の定員数は余っている

保育所定員数と保育所利用児童数の差(定員数過不足)の推移



待機児童は、主として都市部の問題(約8割が都市部に存在)

都道府県別 全国待機児童マップ(2012年4月1日時点)



注:各道府県にお政令指定都市・中核市を含む。

出所) 厚生労働省「保育所関連状況取りまとめ」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002khid.html>

待機児童問題に関わる4つの『ホント！？』

①実は、待機児童は増えていない？

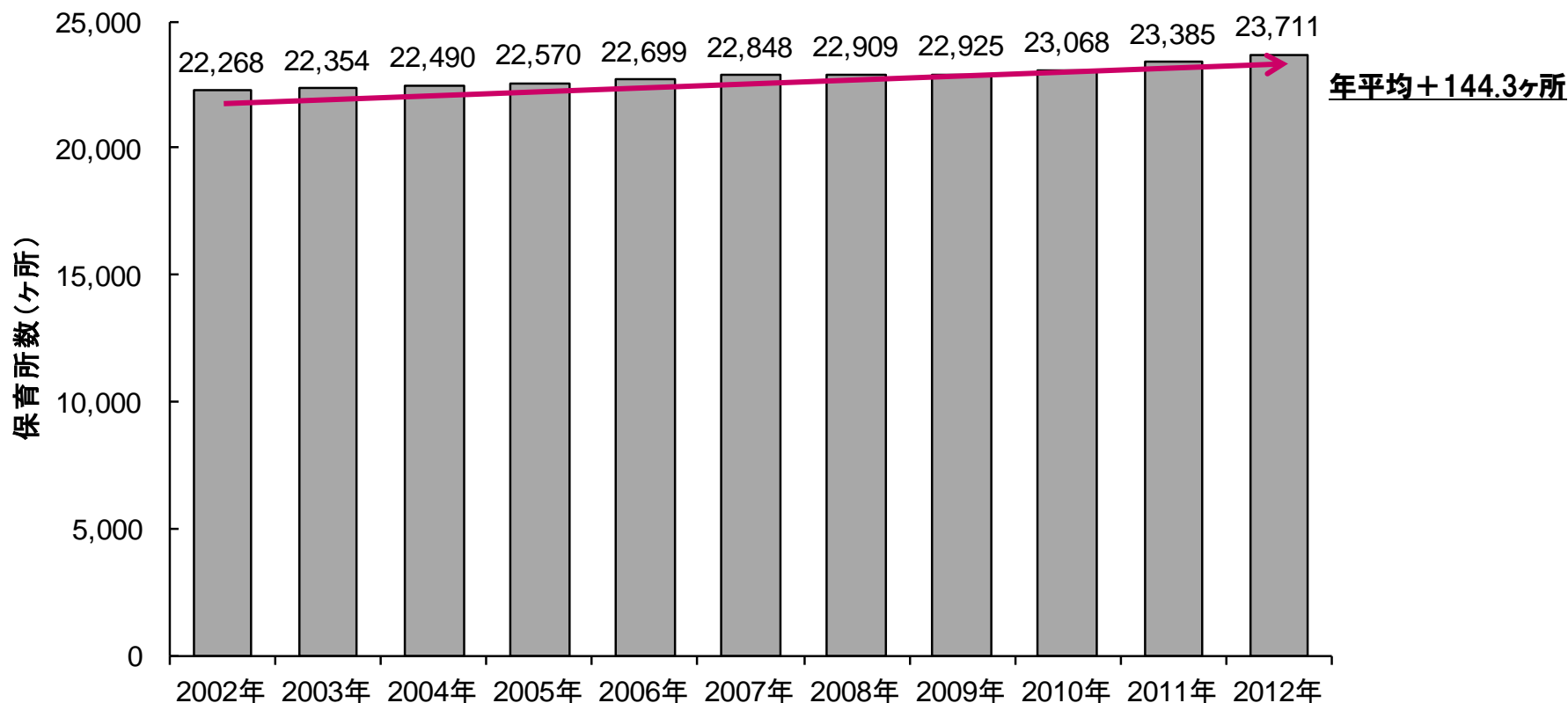
②実は、保育所の定員は余っている？

③待機児童は、減らせば減らすほど増える？

④少子化が続いても、保育所の需要は増える？

保育所数は年々遞増傾向にある(にもかかわらず、待機児童解消には至っていない)

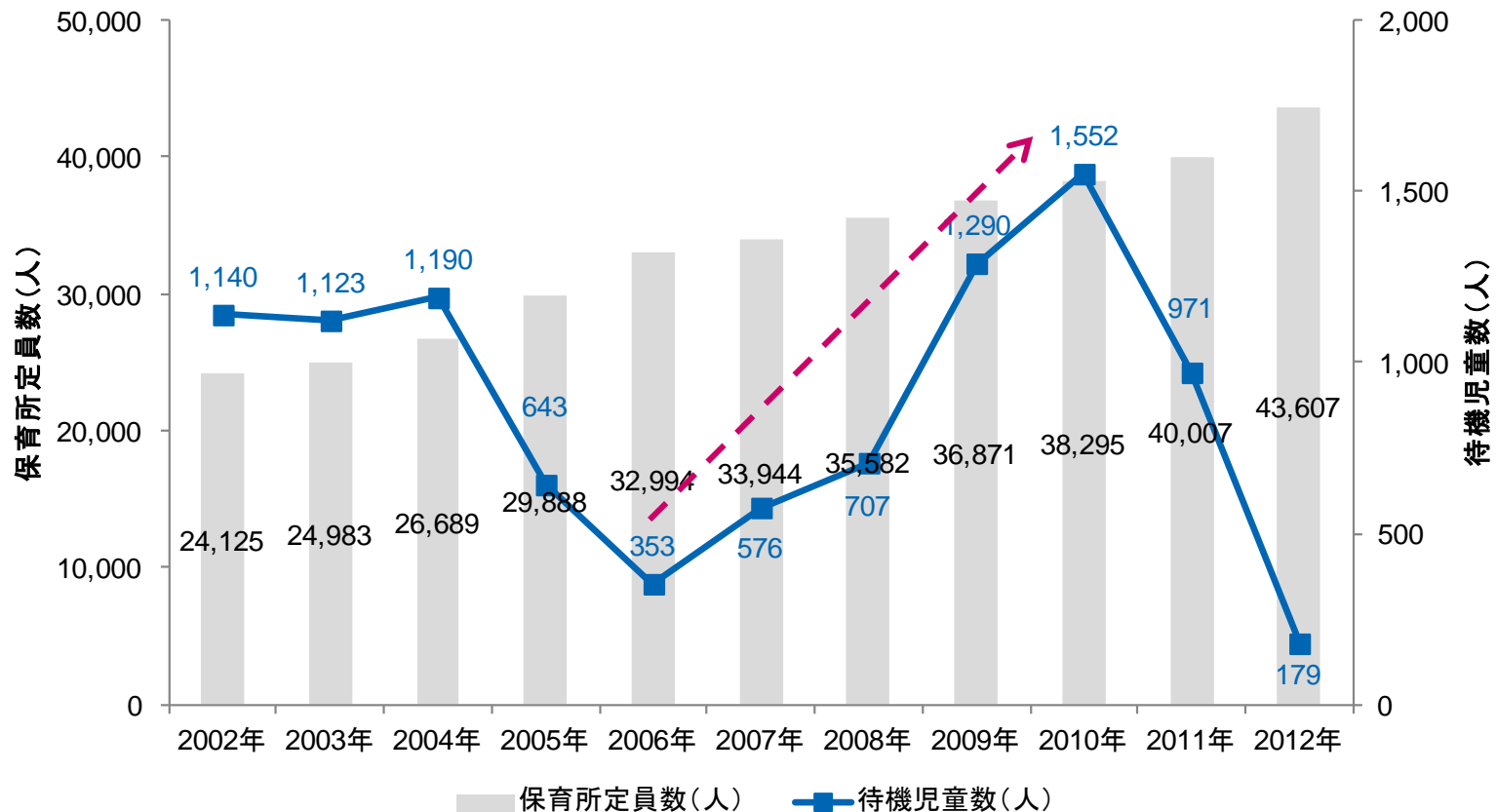
全国における認可保育所数の推移



横浜市における保育所定員数と待機児童数の推移

横浜市では、定員を拡大したにもかかわらず、06～10年にかけて待機児童が加速度的に増加 ⇒待機児童問題の解消が、潜在的な待機児童を掘り起こす

横浜市における保育所定員数と待機児童数の推移



待機児童問題に関わる4つの『ホント！？』

①実は、待機児童は増えていない？

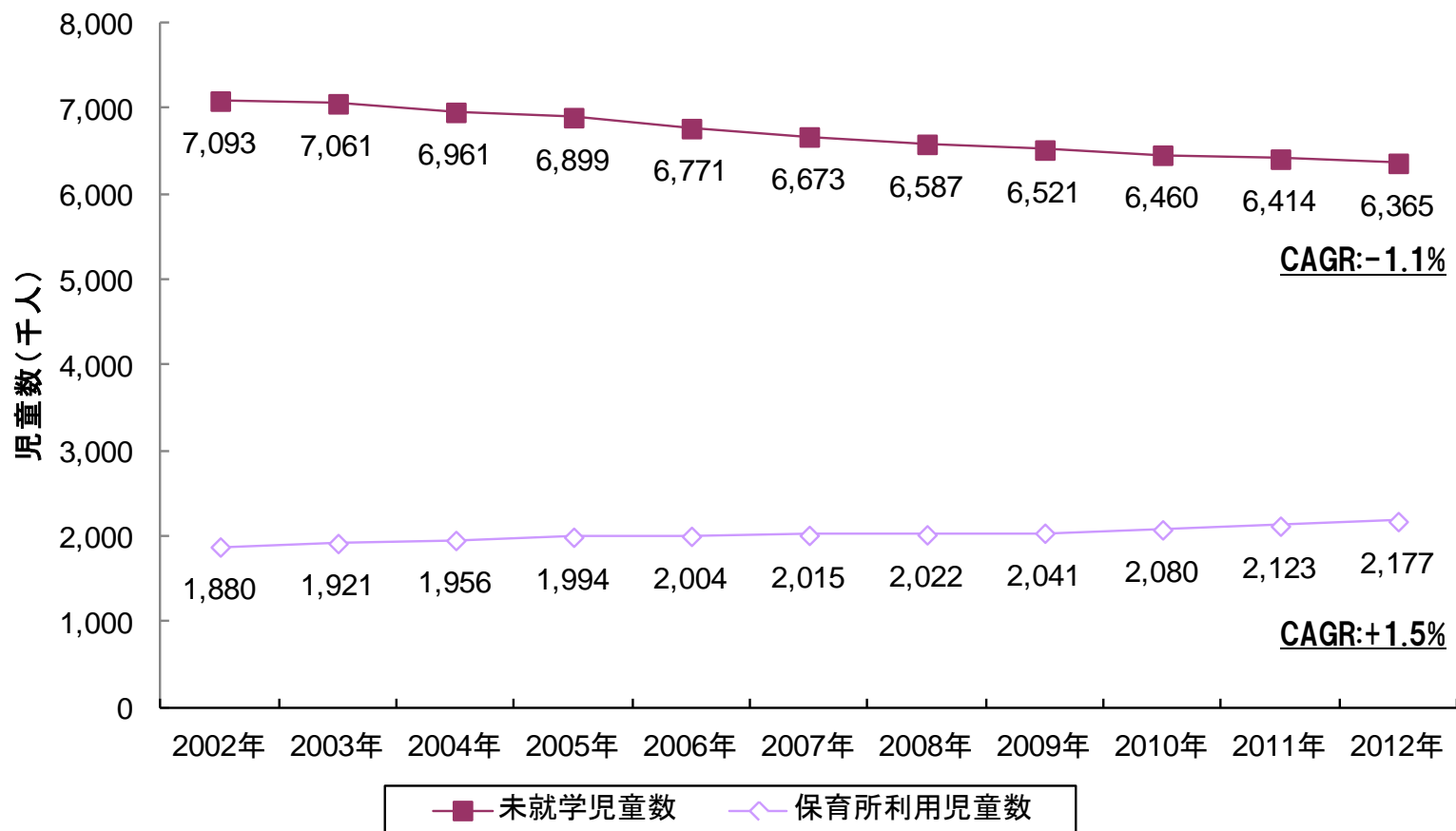
②実は、保育所の定員は余っている？

③待機児童は、減らせば減らすほど増える？

④少子化が続いても、保育所の需要は増える？

少子化が進む中、保育所利用児童数は増加傾向

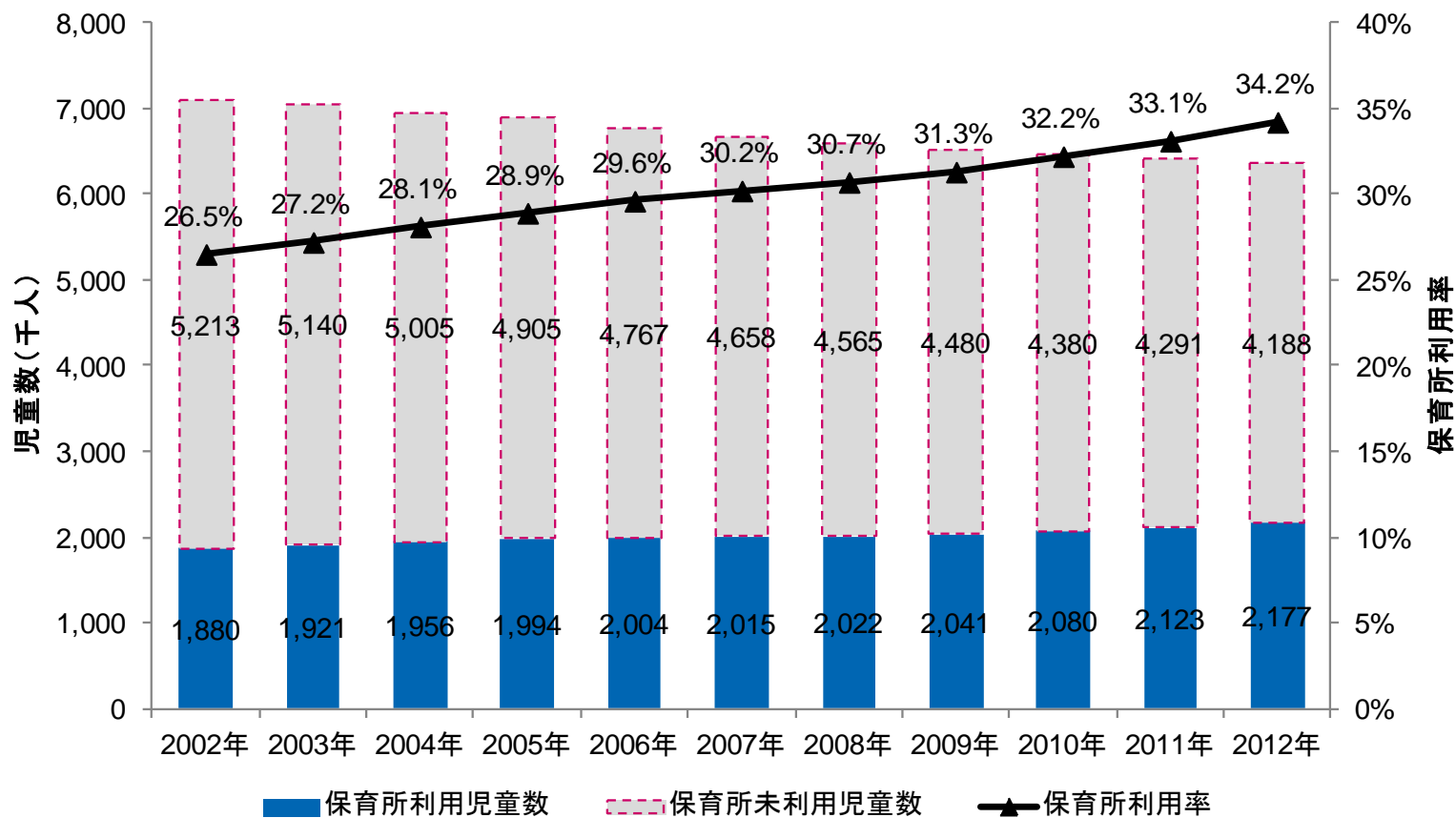
未就学児童数と保育所利用児童数の推移



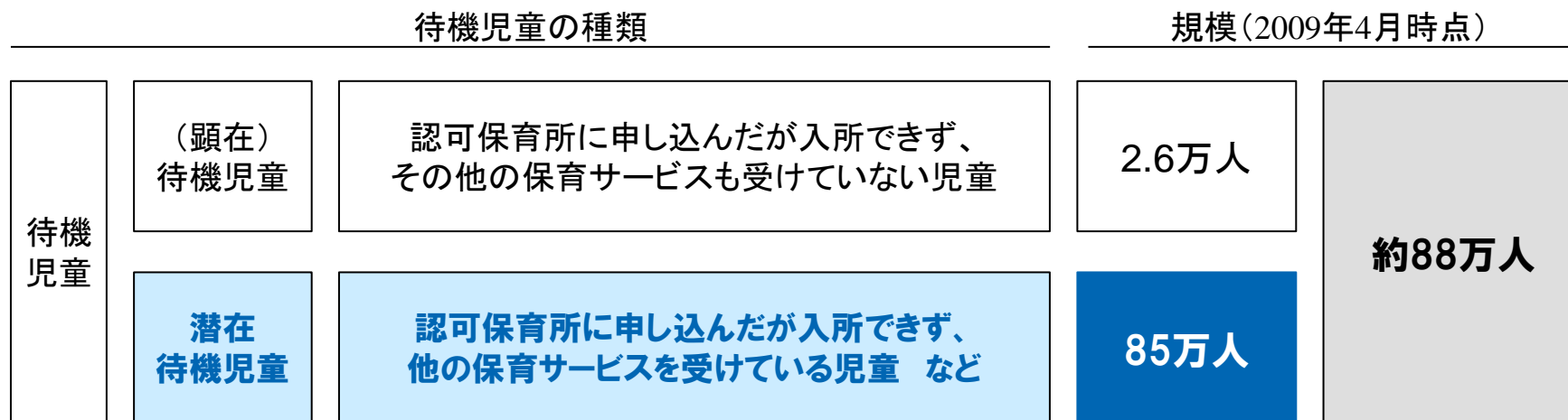
*CAGR: Compound Annual Growth Rate (年平均成長率)

少子化が進んでも、保育サービスの需要ポテンシャルは依然として大きいと考えられる

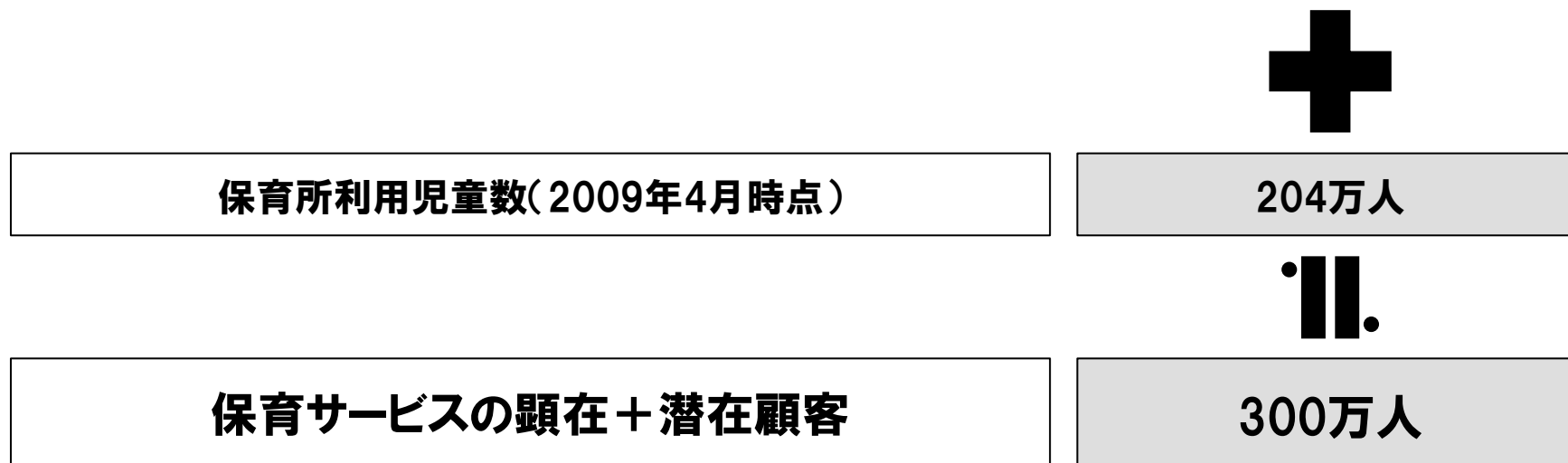
保育所利用児童数と保育所利用率の推移



待機児童の定義を広げると、潜在待機児童 (= 潜在顧客) は約85万人と推計されている



出所) 厚生労働省「新待機児童ゼロ作戦に基づくニーズ調査」2009年



1. イントロダクション

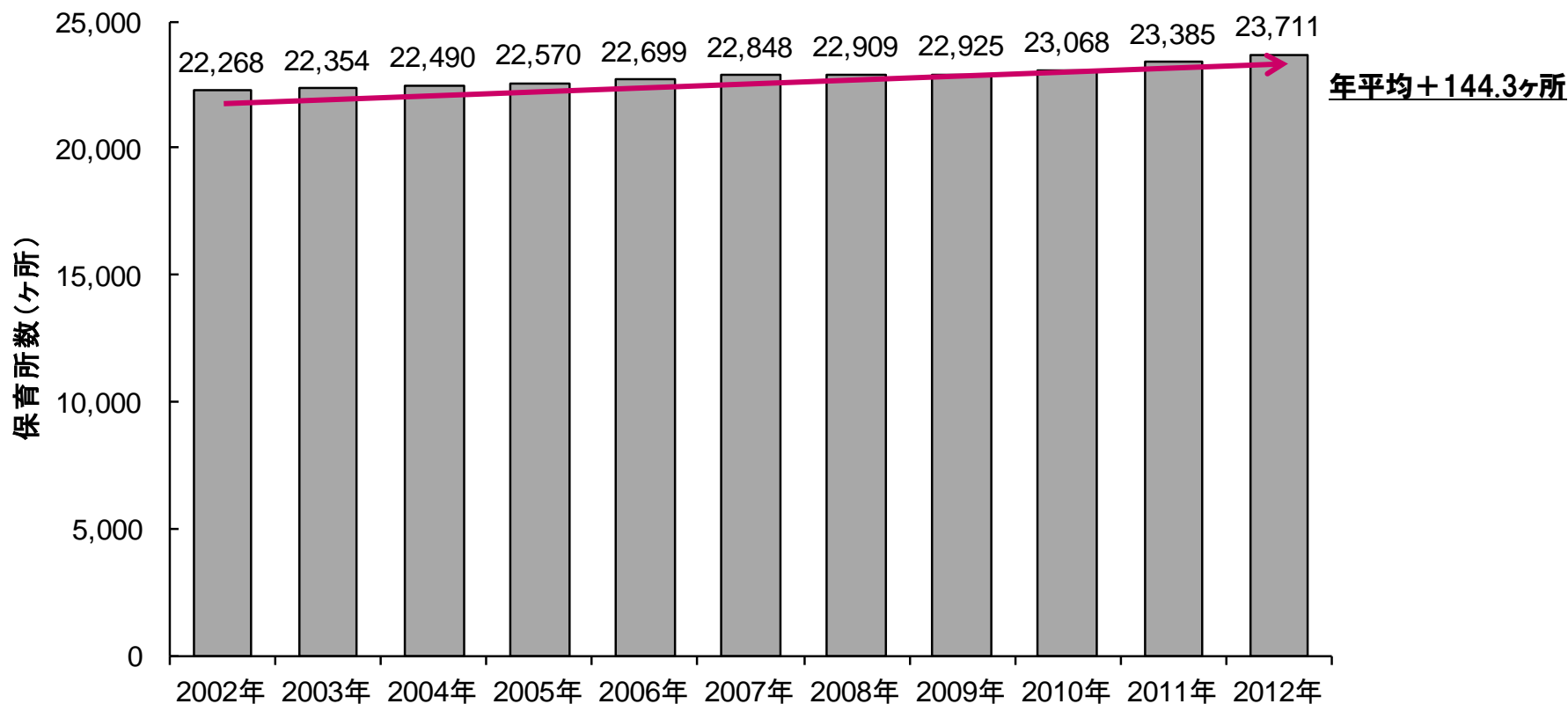
2. 待機児童問題とは？

3. なぜ株式会社の参入が進まないのか？

4. まとめ～保育ビジネスの展望～

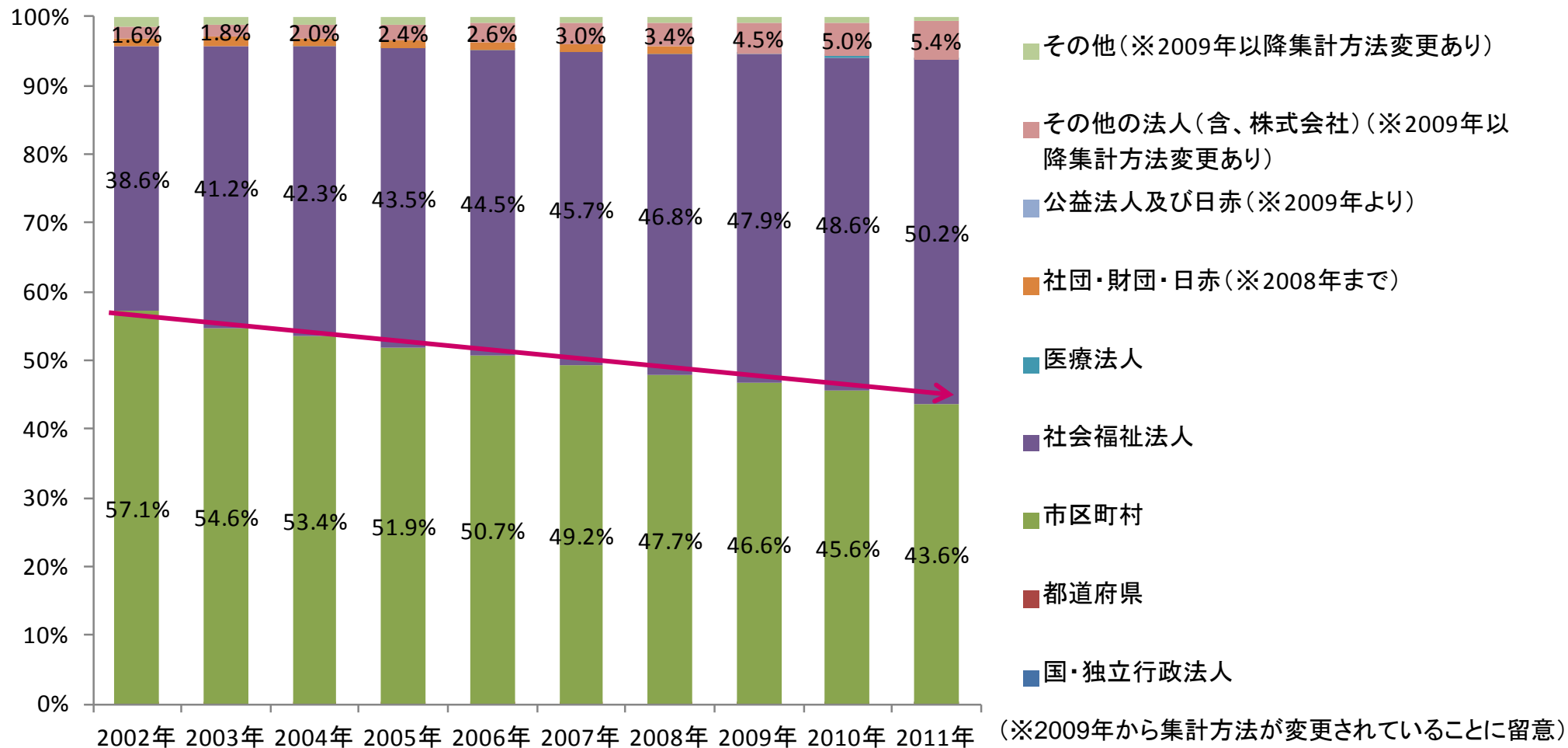
保育所数は年々遞増傾向にあるが、待機児童解消には至っていない

全国における認可保育所数の推移



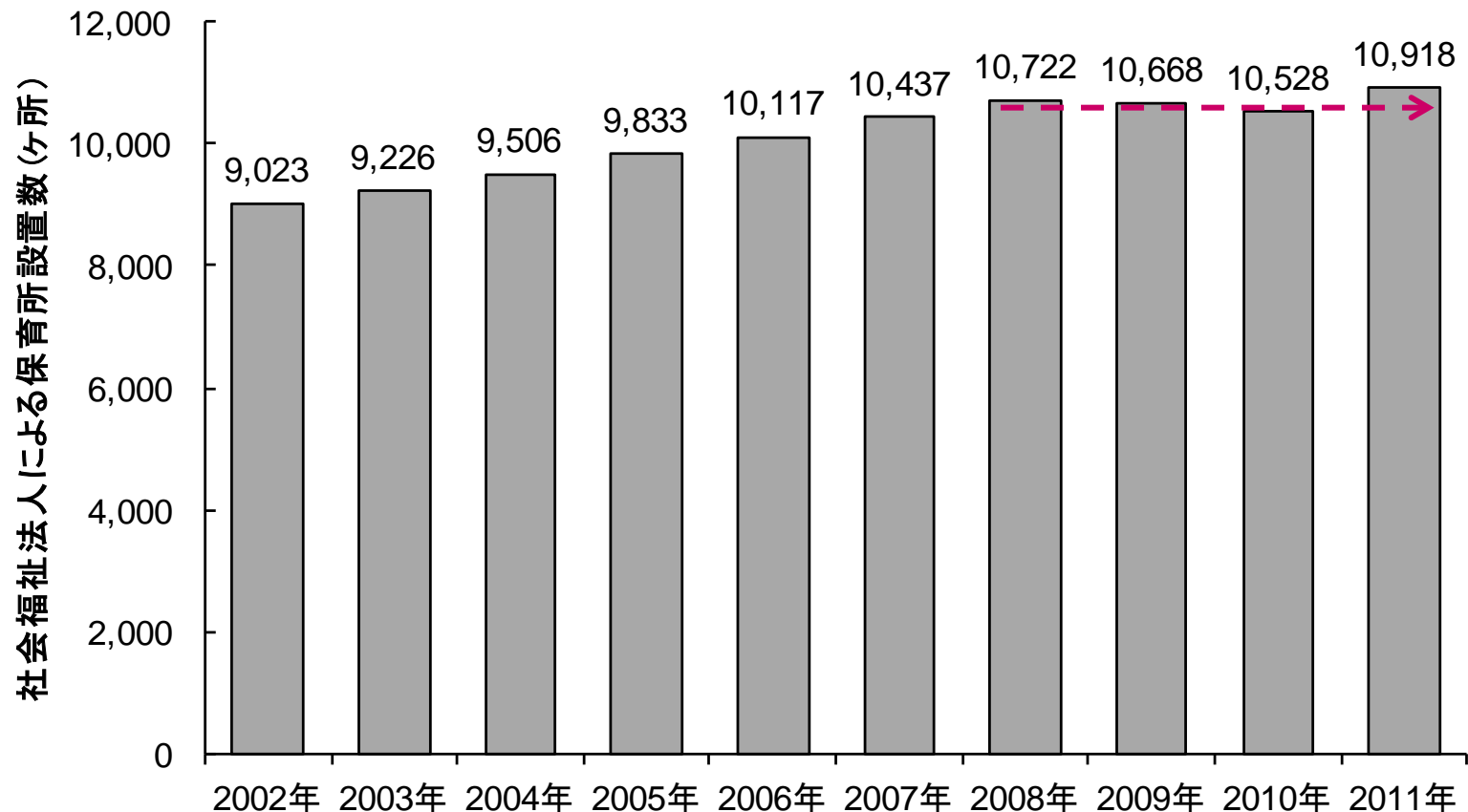
公立の比率が低下し、社会福祉法人の比率が上昇している

経営主体別保育所設置数の内訳推移



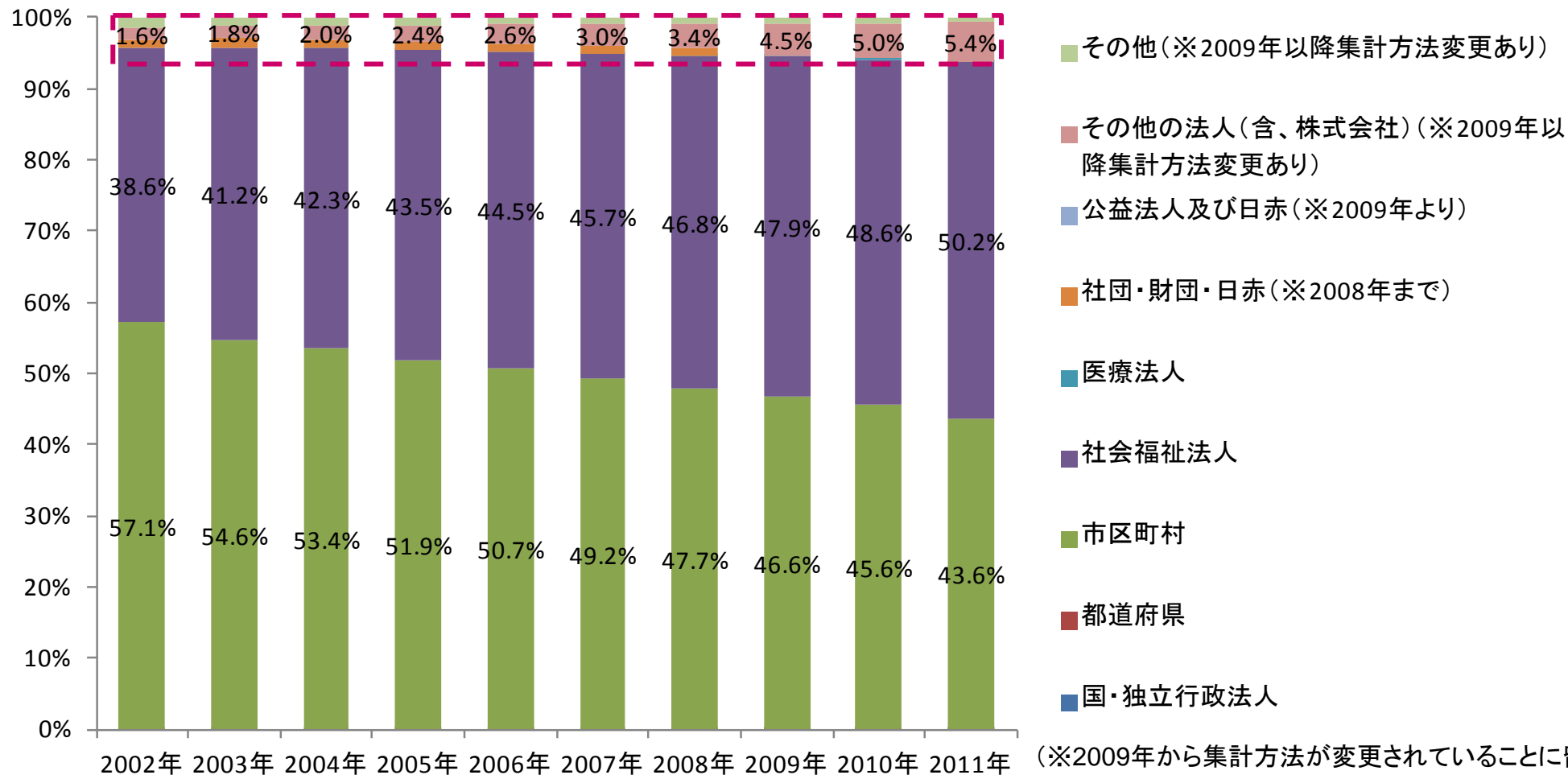
社会福祉法人による保育所設置は、頭打ちの状態に近づいている

社会福祉法人による保育所設置数の推移



民間企業(株式会社)の参入なくして、保育所増設(=待機児童解消)は極めて難しい

経営主体別保育所設置数の内訳推移



売上高1位のJPホールディングス(東証一部上場)でも、部門売上高は約120億円に留まる

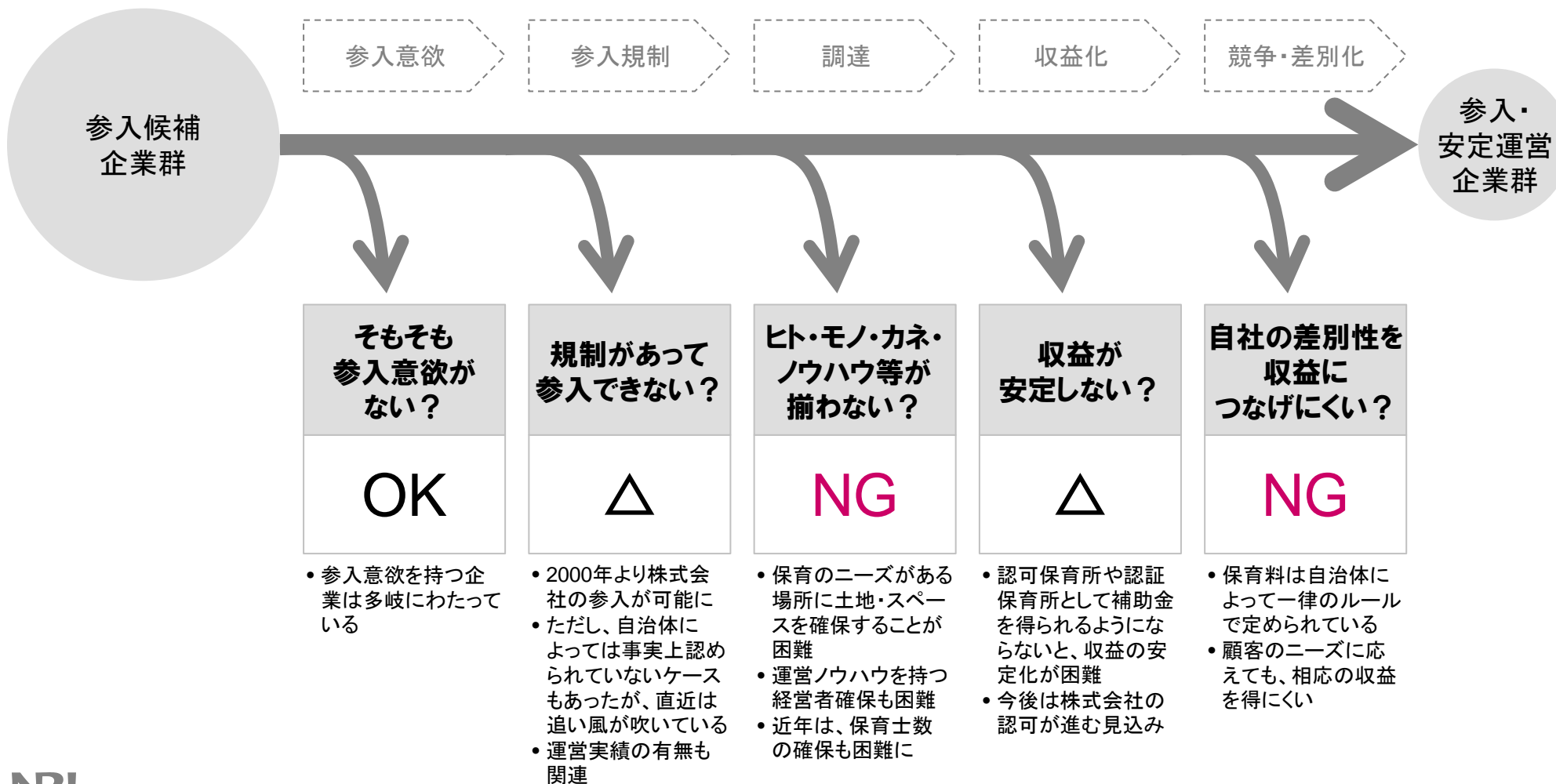
保育サービス事業上位10社

部門売上高 順位	社名	部門売上高 (百万円)	前年度比 伸び率
1	JPホールディングス(アスク)	11,867	29.5%
2	こどもの森	7,387	14.2%
3	サクセスホールディングス	6,006	14.7%
4	ピジョン	5,990	9.8%
5	ポピンズ	5,837	16.7%
6	アートチャイルドケア	2,964	13.3%
7	小学館集英社プロダクション	2,799	32.4%
8	アイگران	1,908	59.5%
9	テノ. コーポレーション	1,522	28.0%
10	コビーアンドアソシエイツ	1,500	20.0%

なぜ株式会社の参入が進まないのか？

様々な業種で参入意欲を持つ企業がいるものの、いくつかのハードルが存在する
⇒ただし直近は解消が進みつつあり、実績さえできれば好循環を生み出せる可能性がある

株式会社の参入が進まない現況の問題構造仮説

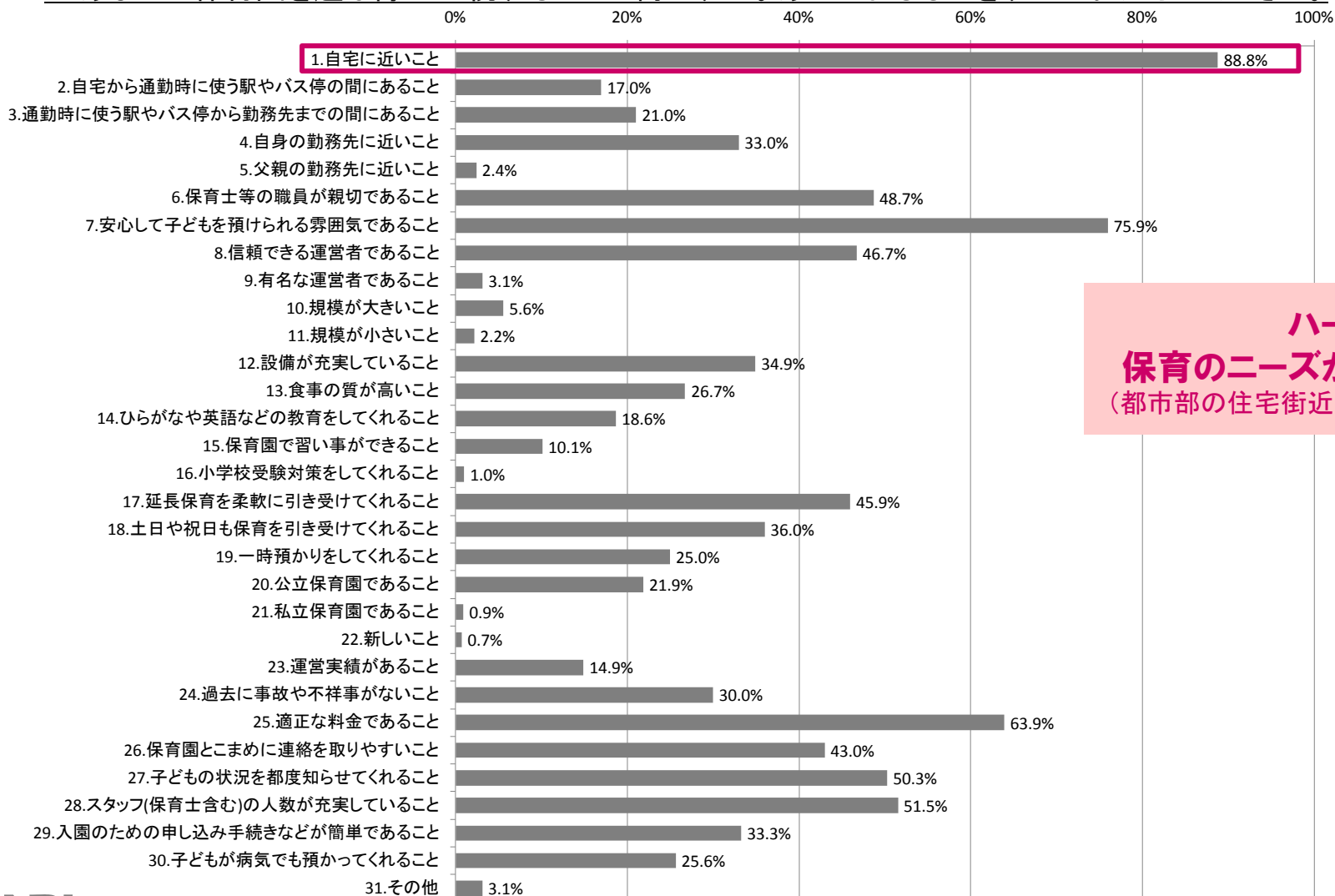


保育所に対する保護者(母親)のニーズ

保育所に最も求められているのは「自宅に近いこと」

(保育所のニーズは都市部に集中⇒都市部の住宅地近隣に土地・スペースを持つ必要性)

Q.あなたが保育園を選ぶ際に重視することは何ですか。あてはまるものをすべてお知らせください。



ハードル例:
保育のニーズがある場所への設置
(都市部の住宅街近隣に土地・スペースを確保)

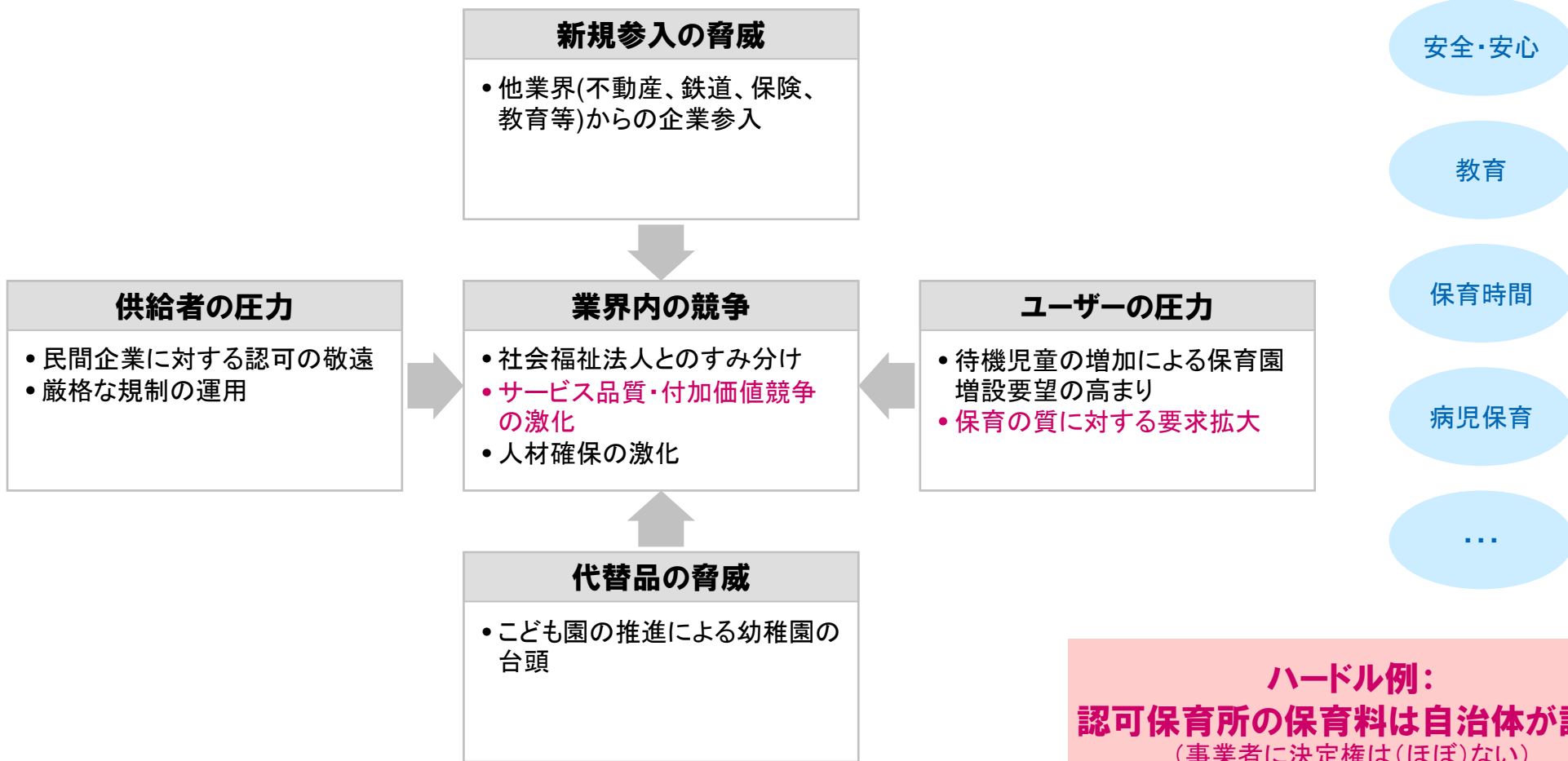
回答対象者

- 現在、子どもが保育施設に通っている女性
- 過去3年間、子どもが保育施設に通っていた女性
- 現在妊娠中または子どもが欲しいと思っている女性のうち、子どもが産まれても働き続けたいと考えている女性

ニーズの多様化やプレイヤーの拡大に伴い、サービスの品質・付加価値競争の激化は必至
⇒ただし、それを「保育料」に自由に転嫁できない

保育サービス業界における競争環境分析(5 Forces)

サービス品質・付加価値のキーワード例



1. イントロダクション

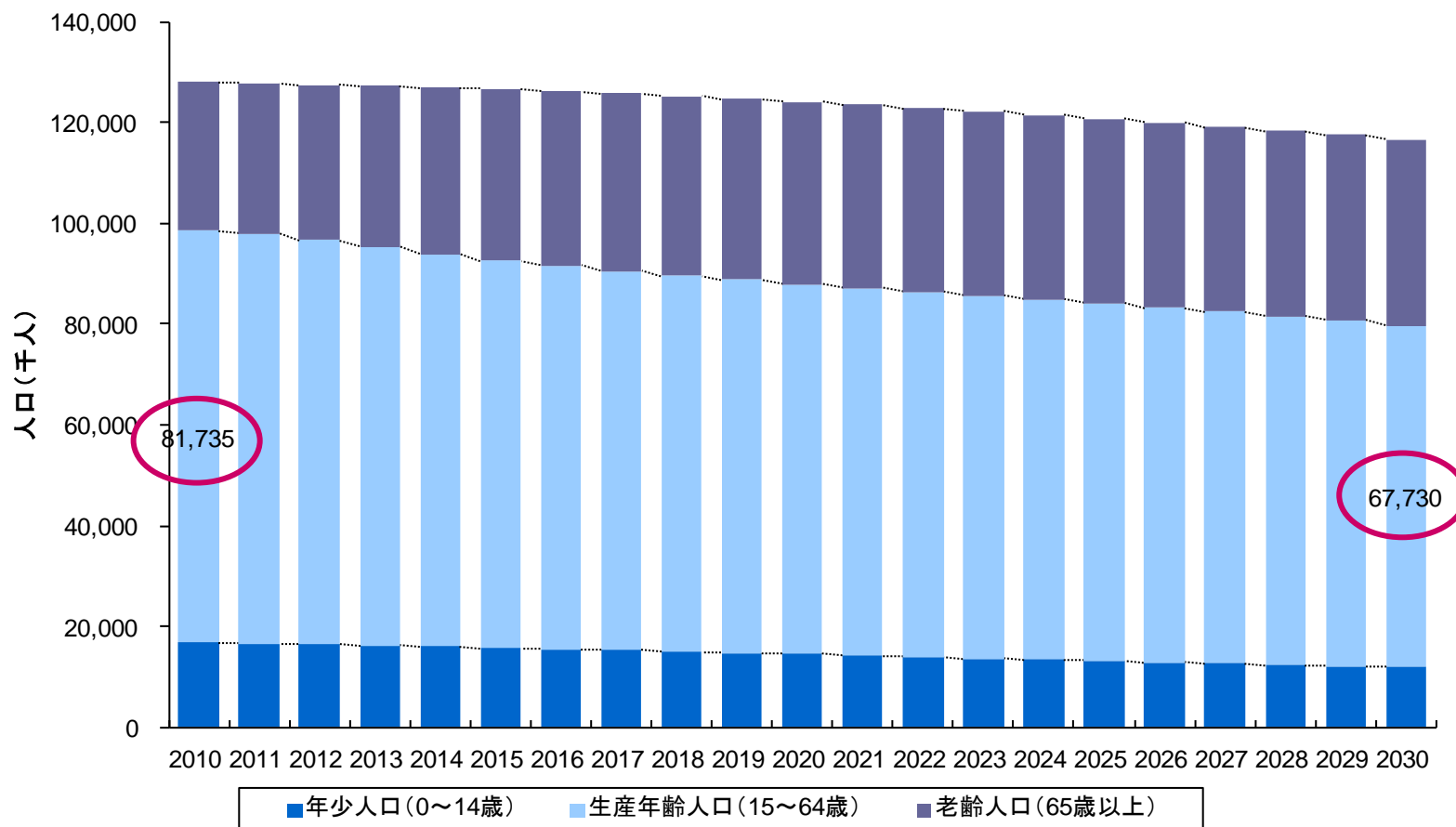
2. 待機児童問題とは？

3. なぜ株式会社の参入が進まないのか？

4. まとめ～保育ビジネスの展望～

2010年に8千万人を上回っていた生産年齢人口は、2030年には7千万人を下回る

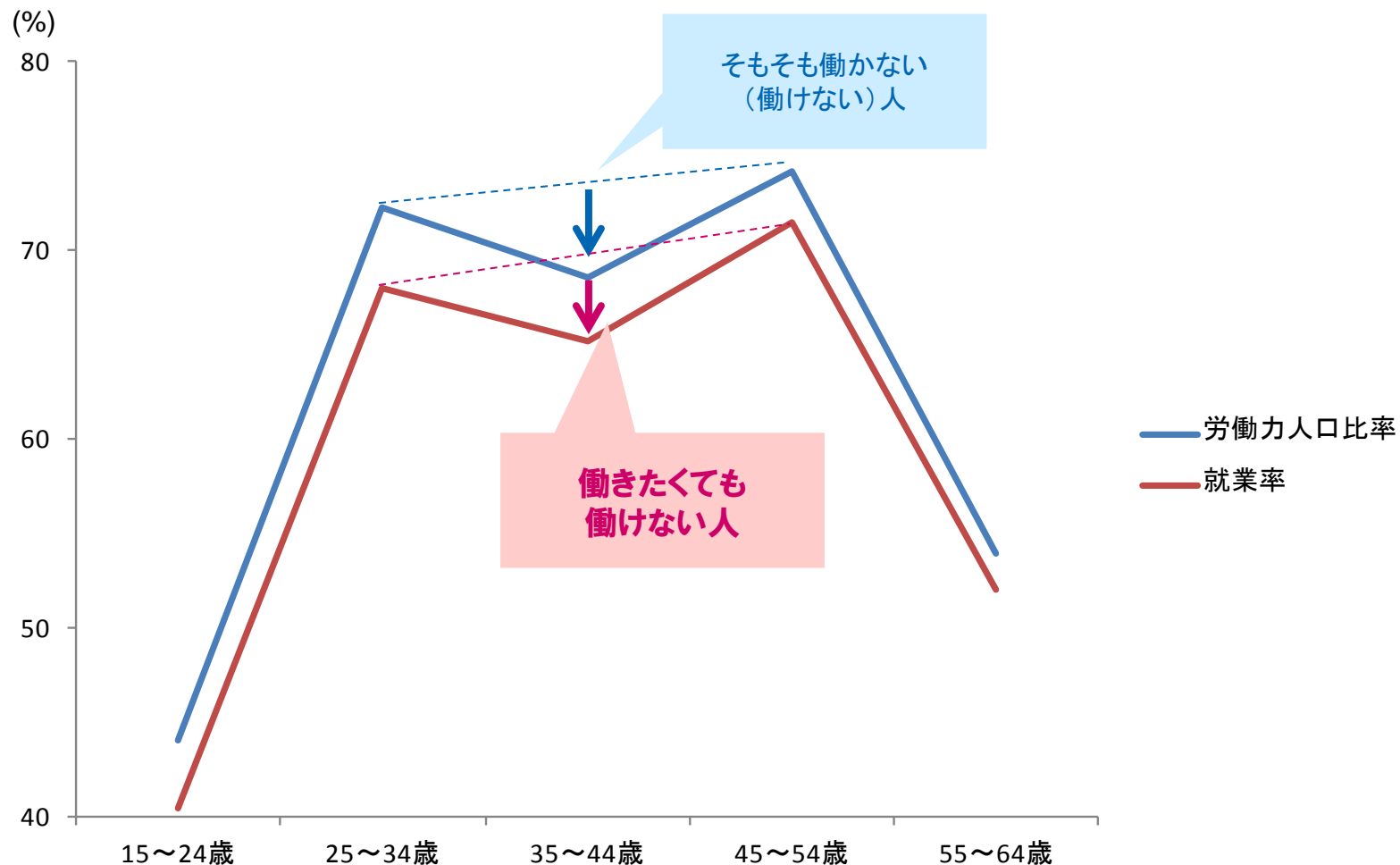
日本の将来人口推計



女性の労働力人口比率と就業率

35～44歳女性の「M字カーブの解消」がカギ ⇒この意味では、待機児童問題は「嬉しい悩み」

女性の年齢別労働力人口比率と就業率 (2010年)

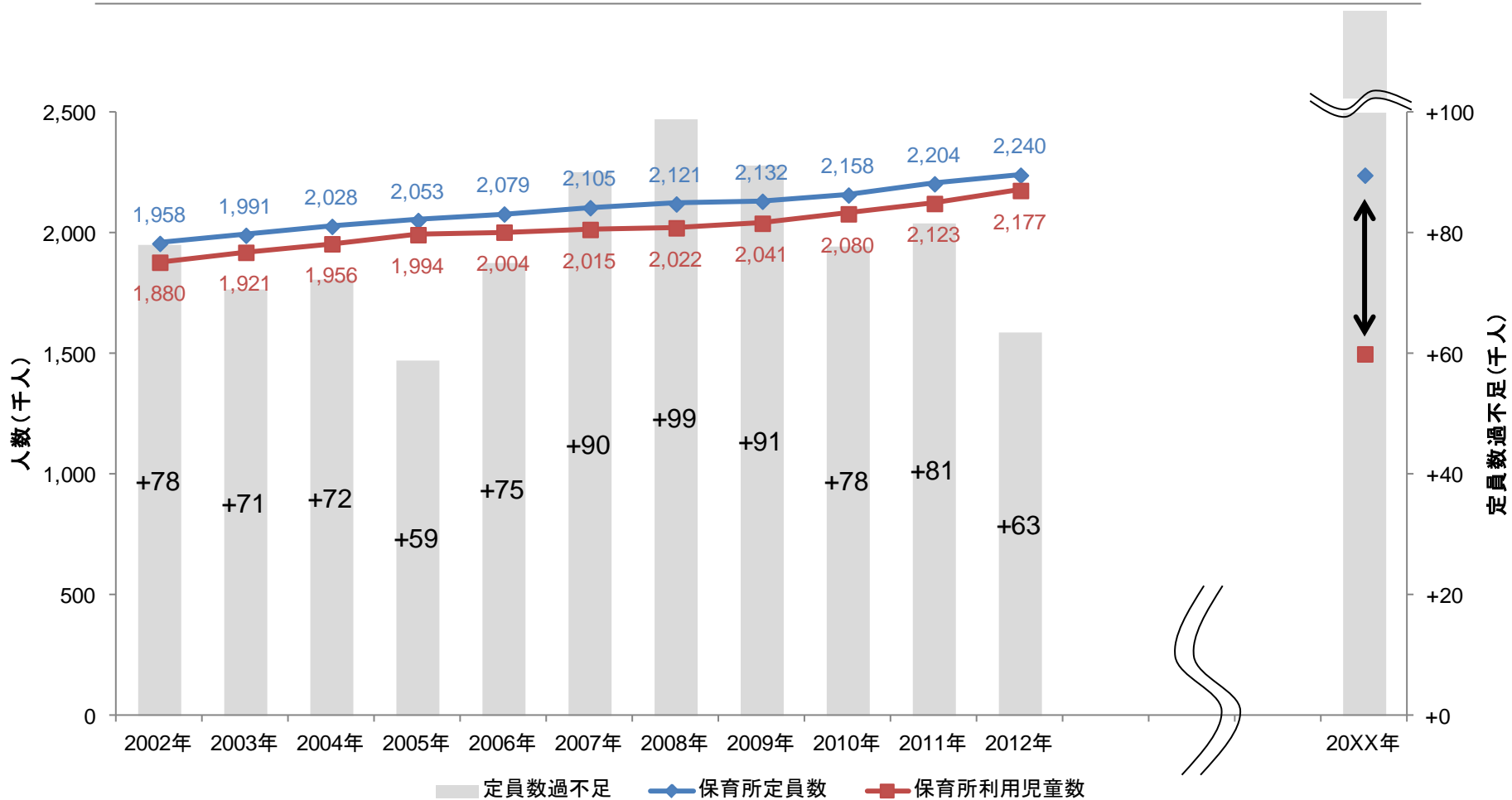


出所) 総務省統計局「労働力調査」

保育所定員数過不足の推移予測(イメージ)

人口減・少子化が継続すると、長期的にはいずれ保育所の定員数は過剰となってしまふ
⇒近年、一生懸命つくった保育所はどうなる・・・？

保育所定員数と保育所利用児童数の差(定員数過不足)の推移予測(イメージ)

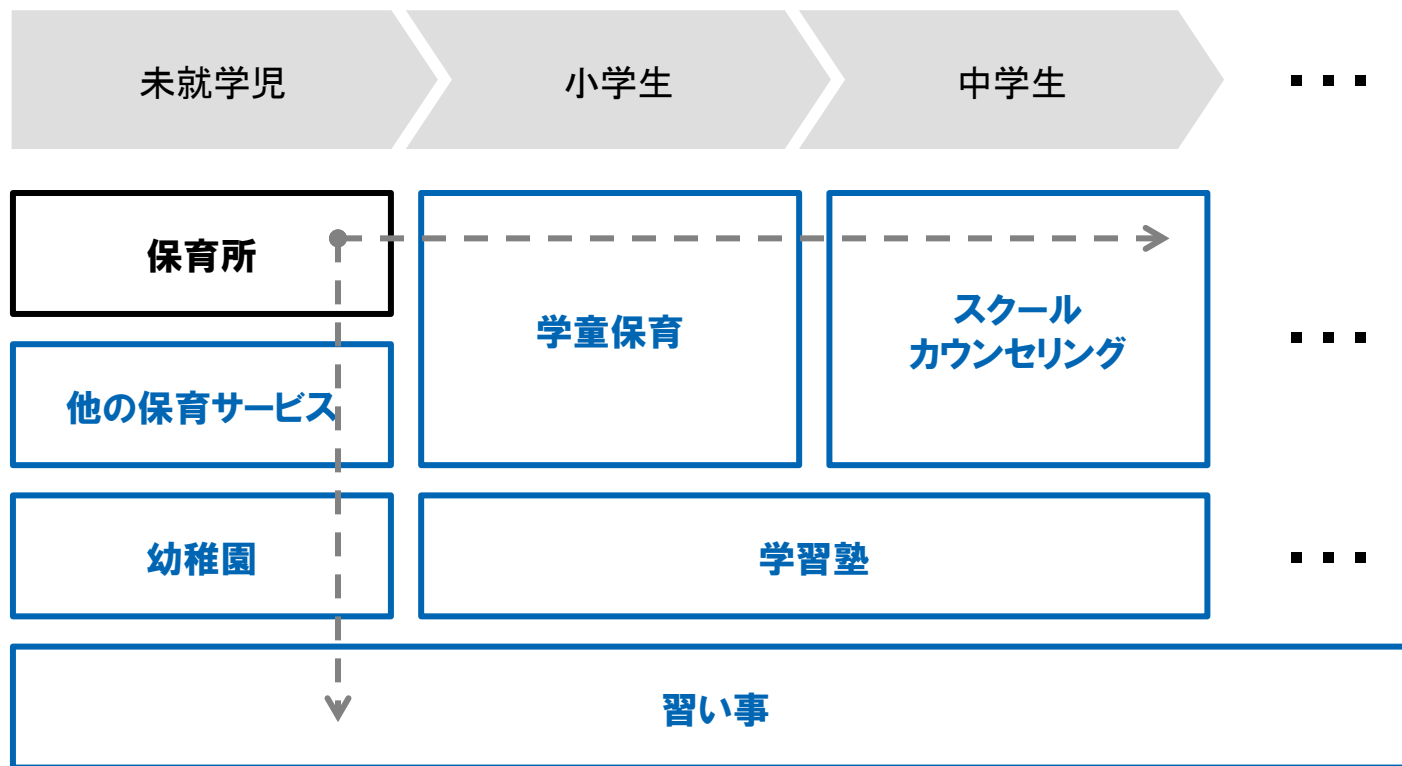


実績部分の出所) 厚生労働省「保育所関連状況取りまとめ」よりNRI作成

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002khid.html>

客層を拡大し、「総合子育て支援サービス」の提供者となる必要があるのではないか ⇒ただし、実現のためには2つのハードルが存在

保育サービス事業者が将来目指すべきサービス展開イメージ



ハードル①認可保育所の施設設置基準
(施設の面積、常備すべき設備等が決められている)

ハードル②認可保育所の利益活用制限
(保育で得た利益は保育にのみ再投資可能)

今できることから少しずつ、スピード感をもって変えていかなければならない

1994年～	エンゼルプラン
1999年～	新エンゼルプラン
2001年～	待機児童ゼロ作戦
2002年～	少子化対策プラスワン
2003年～	次世代育成支援に関する当面の取組方針
2004年～	子ども・子育て応援プラン
2008年～	新待機児童ゼロ作戦
2010年～	子ども・子育てビジョン
2013年～	待機児童解消加速化プラン

NRI

未来創発

Dream up the future.